

子育て文教委員会 送付29-3

千代田区立九段中等教育学校において、以下3点の要望事項の陳情

受付年月日 平成29年7月25日

陳 情 者

## 陳情書

(陳情趣旨)

九段中等教育学校は、昨年、開校10周年を迎えました。本校の発展は、千代田区議会及び教育行政担当者など多くの関係者の格別のご理解とご協力に基づくものであり、改めて感謝を申し上げます。ただ、学校にとって10年は決して長いものではなく、生徒及び父母そして教職員は、本校の安定した将来に期待し、努力を続けております。その中で、本年になって唐突に通告されました「教職員数の大幅削減(教員5名削減)」、「学校活動方針の大胆な変更」、「富士見校舎機能の移転計画」は、生徒及び父母らに不安を与える結果となりました。

振り返りますと、本校の発足は、平成14年5月22日に千代田区が提出した要望を契機に検討が開始され、その要望において「良好な進学実績に加え、部活動においても大きな成果をあげるなど・・・千代田区立中等教育学校が目指す方向とまさに合致し」、そして「創造性にあふれ、地域や国際社会の中で活躍できる豊かな教養と幅広い学力を身に付けた人材の育成を目指す」という意欲が示されました。また、本校設立の条件の一つに「進学校としての伝統をもつ九段高校の、更なる進学実績の向上を図る」とされました。こうした背景に基づき、九段中等教育学校には、十分な教職員数と予算が確保され、着実に学力と進学実績が向上し、また部活動を含めた多様な活動が維持されてきました。こうした本校に、多くの小学生が魅力を感じ、入学適性検査を通過した上で、本校にて日々の切磋琢磨を続けております。そうした本校の高い理念と実績により、国が進める「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」や「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」等にも指定され得る状況と期待されます。本校保護者組織としては、このような充実した状況の維持を希望しております。

さらに、本校保護者組織は、平成21年6月に「九段中等教育学校校舎改修の早期実施に関する陳情」を行っており、その多くを実現していただいたことに感謝しておりますが、依然として、九段校舎と富士見校舎に関し「信号を渡ることなく迅速かつ安全に移動できる方法を検討いただくよう」求めた点については実現されておられません。その実現においては、現状の校舎及び校庭の実質的機能が確実に維持され、学習環境と各種活動に悪影響のないように進めて頂きたいと存じます。

以上のことから、本校保護者組織として、以下3点の要望事項を陳情いたします。

### 【要望事項】

1. 九段中等教育学校において、①更なる進学実績の向上のための充実した支援、②これまでと同様に充実した部活動の実施に必要な環境整備、③多様

性に富む一層の発展が図られる取組、を実施すること。

2. 九段校舎と富士見校舎につき、生徒及び教職員が迅速かつ安全に移動できる手段を速やかに講じること。その実現にあたっては、現状の校舎及び校庭の実質的機能が維持され、学習環境と部活動等の活動に悪影響のないように配慮すること。
3. 上記1及び2について実効性を担保すべく、千代田区立九段中等教育学校に対し、適切な施策と十分な予算を措置し、十分な教職員数(不可能な部分に限り、十分に適切で充実した代替手段)を確保すること。

平成29年7月25日

千代田区議会議長 松本 佳子 殿